

風水害対策

大雨や強風はわたしたちに何度も大きな被害をもたらしています。
 undanから気象情報に十分注意し、避難の際もみんなで協力しましょう。

大雨情報をキャッチ！ こんなときのわが家の安全対策。

まずは、
 正確な情報が大事
 その次に迅速な対応



強風注意報・暴風警報

強風注意報:
 平均風速が陸上が10m/s、
 海上が15m/sと予想される場合
暴風警報:
 平均風速が陸上が16m/s、
 海上が20m/sと予想される場合

大雨注意報

大雨により被害が発生する
 おそれがあると予想される
 場合。

大雨警報

大雨により重大な災害が
 発生するおそれがあると
 予想される場合。

大雨特別警報

数十年に一度の大雨となる
 おそれが大きい場合。

・降雨量が警報基準を大きく
 超えるような大雨

上記以外に「記録的短時間大雨情報」があります。(1時間雨量が100mm以上)
 「特別警報が発表されない」は「災害が発生しない」ではありません。
 これまでどおり注意報、警報、その他の気象情報を活用し、早めの行動をとることが大切です。

雨の強さと降り方

(1時間雨量:mm)

やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
10以上～20未満	20以上～30未満	30以上～50未満	50以上～80未満	80以上
地面一面に水たまりができる。	地面一面に水たまりができる。	道路が川のようになる。	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。
 地面からの跳ね返りで足元がぬれる	 傘をさしていてもぬれる	 傘をさしていてもぬれる	 傘は全く役に立たなくなる	 傘は全く役に立たなくなる

風の強さと吹き方

(平均風速:m/秒)

やや強い風	強い風	非常に強い風	猛烈な風
10以上～15未満	15以上～20未満	20以上～30未満	30以上
風に向かって歩きにくくなる。 傘がさせない。	風に向かって歩けない。 転倒する人もいる。 高所での作業はきわめて危険。	何かにつかまっていないと立って られない。 飛来物によって負傷するおそれがある。	立ってられない。 屋外での行動は危険。 樹木が倒れる。
 傘がさせない。	 転倒する人もいる。 高所での作業はきわめて危険。	 何かにつかまっていないと立って られない。 飛来物によって負傷するおそれがある。	 立ってられない。 屋外での行動は危険。 樹木が倒れる。

台風

●日本には毎年多数の台風が接近
 あるいは上陸し、たびたび大きな
 被害をもたらします。
 台風の接近が予想される際は、台
 風情報に十分注意し、被害のない
 ように備えることが必要です。

大きさ	風速15m/s以上の半径	強さ	最大風速
大型(大きい)	500km以上800km未満	強い	33m/s以上44m/s未満
超大型(非常に大きい)	800km以上	非常に強い	44m/s以上54m/s未満
		猛烈な	54m/s以上

集中豪雨

●集中豪雨は、限られた地域に、突発的に短時間に集中して降る豪雨で、梅雨の終わりごろによく発生します。
 ●発生の予測は非常に困難で、中小河川の氾濫、土砂崩れ、がけ崩れなどによる大きな被害をもたらすことがありますので、
 気象情報に十分注意し、万全の対策をとることが必要です。

- ラジオやテレビなどの気象情報に注意する。
- 早く帰宅し、家族と連絡を取り、非常時に備える。
- 町や防災関係機関の情報をよく聞いておく。
- 飲料水や食料を3日分確保しておく。
- 停電に備え懐中電灯や携帯ラジオを用意する。
- 浸水に備えて家財道具は高い場所へ移動する。
- 非常持出品を準備しておく。
- 危険な地域では、いつでも避難できるように準備をする。

※上記、「雨の強さと降り方」および「風の強さと吹き方」のイラストは、気象庁提供。

つねに気象情報には、
 注意して
 おきましょう！

